

耐震改修工事現場確認記録書

項目	補強方法	確認内容	登録工務店	耐震診断士
			確認方法※	確認方法※
1 壁の補強	筋かいによる補強	a) 筋かいの形状、寸法、位置の確認 b) 筋かいの欠込み部の補強の確認		
	構造用合板等面材による補強	a) 面材の種類、規格、品質、形状、寸法、位置の確認		
	振動エネルギーを吸収する方法による補強	a) ダンパー等の仕様、位置の確認		
2 接合部の補強	筋かい端部の接合方法	a) 筋かいの緊結及び緊結方法（Z金物及びC金物等の工法による）の確認		
	構造用合板等面材の緊結方法	a) 構造用合板の緊結の確認（釘（N50またはCN50）の間隔 cm 以下） （ビス（N50またはCN50と同等）の間隔 cm 以下）		
	柱と横架材の接合方法	a) ホルダリング金物の品質、形状、寸法、位置、緊結及び緊結方法の確認 b) 柱（通し柱、管柱）と梁との緊結及び緊結方法（Z金物及びC金物等の工法による）の確認 c) 柱（通し柱、管柱）と土台、その他の横架材との緊結及び緊結方法（Z金物及びC金物等の工法による）の確認		
	火打ち材	a) 火打ち材の緊結及び緊結方法の確認		
3 基礎の補修・補強	増打ち基礎	a) 基礎及び地中梁の種類、位置、形状、寸法の確認（基礎高さ mm） b) 鉄筋の径、本数、間隔、形状、定着、継手及び配置の確認 c) 型枠の寸法及びびかぶり厚さの確認 d) 打設後の養生を適切に行ったことの確認 e) アンカボルトの材質、形状、寸法及び配置、定着、緊結状況の確認		
	基礎の補修	a) 小さなひび割れ部分のエポキシ樹脂等による補修の確認 b) 1mm程度のひび割れ部分のSUS鋼板等による補修の確認		
	玉石基礎の補強	a) 鉄筋コンクリート造の基礎の増打ちの確認 b) 柱脚部の足固めの確認		
4 水平構面等の補強	火打ち材による補強	a) 火打ち材の形状、寸法、位置の確認		
	構造用合板による剛床の設置	a) 構造用合板の種類、規格、品質、形状、寸法、位置の確認 b) 構造用合板の緊結の確認（釘（N50またはCN50）の間隔 cm 以下）		
	屋根・下屋の補強	a) 構造用合板の種類、規格、品質、形状、寸法、位置の確認 b) 構造用合板の緊結の確認（釘（N50またはCN50）の間隔 cm 以下）		
	ビロライやオーバーハングの補強	a) 構造用合板の種類、規格、品質、形状、寸法、位置の確認 b) 構造用合板の緊結の確認（釘（N50またはCN50）の間隔 cm 以下） c) 柱と床梁の緊結の確認		
5 腐朽・蟻害部材の補強・交換	腐朽・蟻害部材の補強	a) 局部的なはぎ木等の部分補修の確認 b) 根継ぎ等による部材の交換・取替えの確認		
	腐朽・蟻害の再発防止	a) 防腐及び防蟻措置の確認（地盤から mm）		
6 その他	屋根の葺替え	a) 屋根葺材の種類、仕様の確認		
	外壁仕上げ材の張替え	a) 外壁仕上げ材の種類、仕様の確認		

(注意) 確認方法  
 A：工事現場で目視により確認したもの  
 B：工事現場で計測機器、検査機器を用いて確認したもの  
 C：報告書等により確認したもの  
 D：耐震診断士が工事現場で直接確認したもの  
 登録工務店及び耐震診断士がAからDまでの確認方法を参考に記入する。